

令和 8 年 9 月 2 1 日
県土整備部河川環境課
0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 5 0

高滝ダムにおける緊急放流（異常洪水時防災操作）の 見合わせについて

（9月21日 22時50分発表）

高滝ダムでは、現在、防災操作（洪水調節）を行っています。

これまでの予想では、計画規模を超える洪水となっており、緊急放流（異常洪水時防災操作）の可能性が高まっていましたが、降雨の状況が予測を下回り、流入量が減少したことから、降雨の状況を注視することとし、当面の間、緊急放流（異常洪水時防災操作）を見合わせています。

緊急放流の概要

上流からの水を貯留するダムとしての機能を確保したうえで最大限に水を貯められる水量（洪水調節容量）を超えて水が流入する可能性が生じた際に、流れ込む水の量と同じ量を下流に流す操作

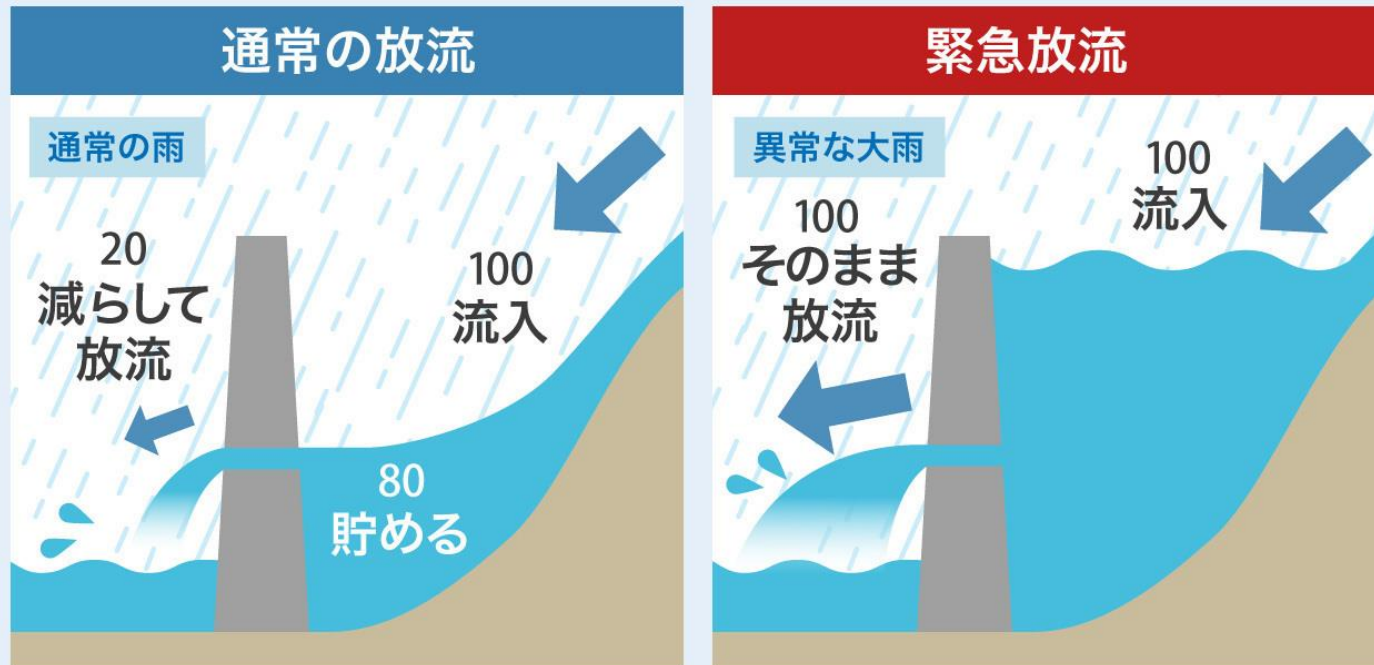
問合せ先

県土整備部河川環境課

河川維持室長 伊藤

0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 5 0

緊急放流（異常洪水時防災操作）とは



大雨でダムが満水に近づいた時…

下流の河川の急激な水位上昇を防ぐため、放流量を徐々に増加させ、ダムに流入した水をそのまま下流に流す

「ダムに貯めこんだ水を一気に放流する」のではない

緊急放流（異常洪水時防災操作）が予告されたら

ダムが低く抑えていた下流河川の水位が上昇する恐れ

下流の地域にいる人がとるべき行動は？

⇒ 自治体からの避難情報を確認、早めの避難行動を

情報入手する手段

自治体



防災行政無線



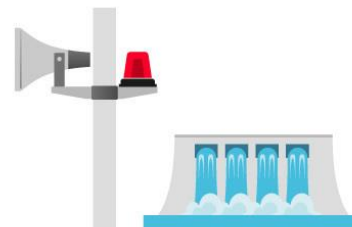
メール・SNS など

メディア



インターネット
スマホアプリ
テレビ・ラジオなど

ダム管理者



サイレン



警報車